

輸入粗飼料の情勢

全酪連
購買生産指導部
購買推進課

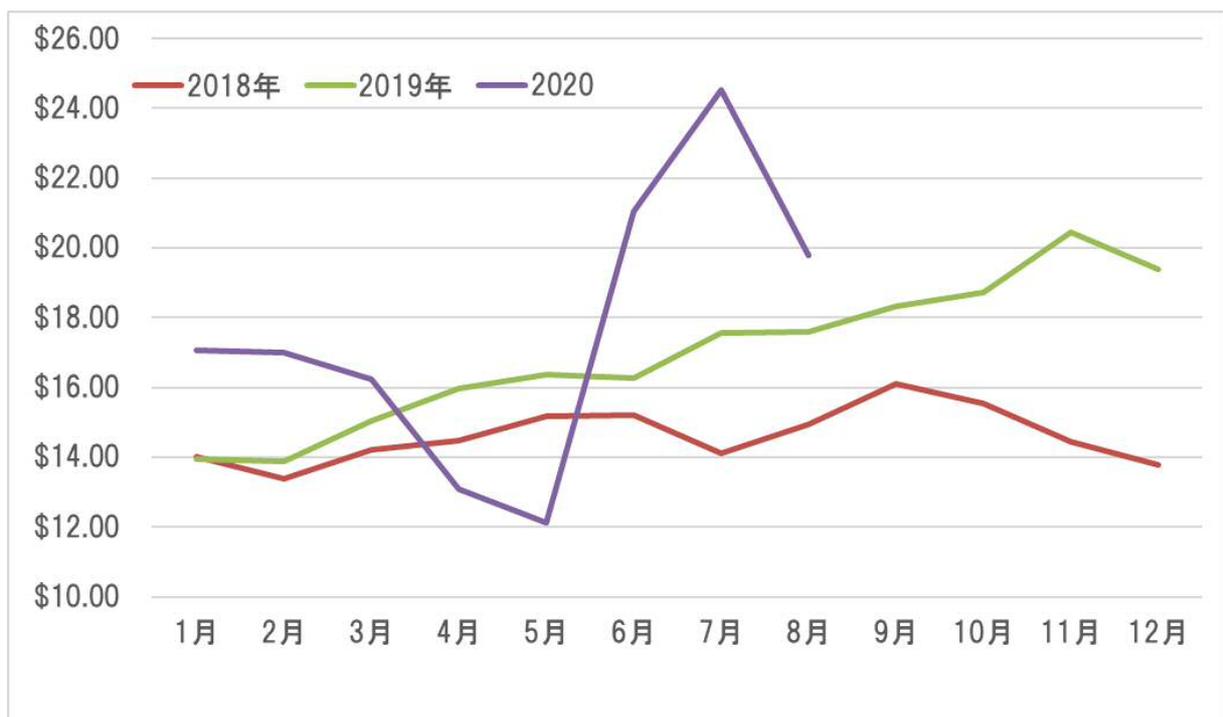
北米コンテナ船情勢

中国をはじめとしたアジア諸国からの輸出量は回復傾向にあります。COVID-19を起因とした貨物の落ち込みから、各船社はこれまで本船を減便し船腹を調整していましたが、輸出量が急速に回復していることから、中国を中心とするアジア地域において輸出用の空コンテナ及び船腹が不足しています。この影響でアジア発米国向けの航路の運賃は上昇しており、歴史的な高値となっています。

一方で米国発日本向け航路は春先の混乱からひと段落しており、PSW、PNWともに落ち着きを取り戻しつつあります。

米国乳価状況

9月2日にUSDA（米国農務省）が発表した8月の全米平均クラスⅢ乳価は、乳製品100ポンドあたり\$19.77と前月比\$4.77下落しています。米国における夏場のCOVID-19感染者増加で外食産業向けの乳製品需要が減少し、この数か月非常に不安定な乳価となっています。



(出典：USDA 全米平均クラスⅢ乳価 単位：米国ドル/100ポンド)

ビートパルプ

【米国】

産地では順調に20年産ビートの収穫が開始されています。

ノースダコタ州レッドリバーバレー北部では8月中旬から収穫作業が開始されており一部の地域で降雨がありましたが、収穫進捗は順調です。

ミシガン州とミネソタ州中南部では過去にないほどの早いスケジュールとなる8月上旬から収穫が開始されています。これは例年に比べ、およそ1ヶ月早い収穫のスタートです。ミシガン州の単収については過去5年の平均並みとなることが予測されています。夏季に雨が多く降ったため作付面積の減少が危惧されていたノースダコタ州東南部ミンダックでしたが、最終的に大きな減少なく8月上旬から収穫作業が開始されています。

アルファルファ

ワシントン州

主産地コロンビアベースンでは3番刈の終盤を迎えており、南部では4番刈の収穫が始まっています。3番刈は収穫時天候がよかったため雨当たり被害はほとんどなく、色目の良いアルファルファが発生しています。一方、産地では暑い日が続いたため、成分と葉付きは様々で上級品から下級品まで幅広く発生しています。高成分な上級品の供給は限られているため、輸出向け及び内需から強い引き合いがあり相場は堅調に推移しています。

オレゴン州

オレゴン州南部クラマスフォールズでは2番刈の収穫作業は終了し、3番刈の収穫作業が開始しています。2番刈は一部雨当たり被害が発生したものの、全般的に作柄は良好で多くの良品が発生しています。過去2年山火事の影響を受けブリーチが散見されましたが、20年産は産地で大きな山火事がなかったことから、過去2年と比較すると非常に綺麗に仕上がっています。産地相場は高成分品を求める内需が積極的に買付けを行っており価格は堅調に推移しています。

オレゴン州中部クリスマスバレーでは2番刈の収穫作業が終了しています。2番刈はクラマスフォールズ同様、一部の圃場で降雨被害を受けたものの、概ね例年並みの仕上がりとなっております。3番刈の収穫作業は9月上旬頃開始される見込みです。



(クラマスフォールズ産2番刈アルファルファ 8月中旬撮影)

ネバダ州・ユタ州

ネバダ州北部ウィナマッカ地区では2番刈の収穫作業が終了しており、3番刈の収穫が開始しています。2番刈は収穫時天候に恵まれたため良品が発生していますが、3番刈では降雨被害及び、カリフォルニア州の山火事による煙の影響で、通常以上に乾燥に時間を要したため、ブリーチが目立つアルファルファが多く発生しています。

ユタ州では、2番刈の収穫は終了し3番刈の収穫が始まっています。2番刈は天候に恵まれたため、降雨被害無く、緑目が鮮やかな、きれいな牧草が収穫されています。

カリフォルニア州

カリフォルニア州南部インペリアルバレーでは6番刈が本格化しており、生産者によっては7番刈の収穫を開始しています。高温多湿な気候が続いたため茎が固くブリーチが入った低成分のサマーハイが中心に発生しています。

カリフォルニア州北部ディクソン地区では現在4番刈が収穫されています。2番刈までは湿度も少なく、色目の綺麗なアルファルファが収穫されましたが、3番刈以降湿度が高くなっておりブリーチ混じりのアルファルファの発生が多くなっています。

米国産チモシー

主産地であるコロンビアベースン、キティタスバレーでは2番刈の収穫が終盤を迎えています。20年産の2番刈りは、収穫期の天候に恵まれ良品が収穫できましたが、1番刈収穫後に、チモシーから他の換金性の高い作物への転作が多くみられ、生産量が減少しています。このため国内需要が強い3タイ原料を中心に産地価格は上昇しております。|

スーダングラス

主産地であるインペリアルバレーでは2番刈の収穫が終盤を迎えています。産地ではスーダングラスの作付面積が減少したことと、収穫スケジュールが遅れたため上級品の発生量は例年に比べ少なく、特に色が抜けた上級品の発生は限定的です。このため日本の需要を満たすため輸出業者による旺盛な買い付けが行われており、例年では買付を見送られるような品質も色抜け上級品として高値で売買されています。また茎の太い低級品についても国内の肥育農家による旺盛な買い付けが行われており、産地相場は上昇しています。

カリフォルニア州北部のディクソン地区周辺では1番刈りスーダンの収穫が本格化しています。降雨もなく順調に収穫できており良品も発生しています。9月の中旬には収穫は終了する見込みです。



(カリフォルニア州北部 スーダングラス 8月下旬撮影)

クレイングラス（クレインは全酪連の登録商標です）

産地では5番刈の収穫が行われており、スケジュールの早い生産者はすでに6番刈りを開始しています。8月に入り高温多湿な天候が続き、茎の固いブリーチが混じったクレイングラスの発生が多くなっています。産地相場は落ち着いています。

ストロー類（フェスキュー・ライグラス）

主要産地のウィラメットバレーでは、アニュアル種、ペレニアル種のライグラスストローとフェスクストローの収穫が終了しています。収穫期間中は好天に恵まれ良品が発生しています。

産地の多くの輸出業者は19年産からの繰り越し在庫を持ち合わせておらず、工場を稼働させるため、各社収穫されたばかりのストローを旺盛に買い進めており、産地相場は堅調に推移しています。

カナダ産チモシー

主産地であるアルバータ州南部レスブリッジでは例年より1週間遅い7月上旬から1番刈の収穫が開始し、現在収穫作業を終えています。収穫期に比較的天候が安定したため20年産は50%以上が中級品以上と言われていますが、全般的に例年よりも多く茶葉が混入しています。

非灌漑エリアである同州中部のクレモナでも収穫を終えています。70%で降雨被害を避けることができたため、良品の発生が期待されていましたが、茶葉の混入が多く上級品の発生は限定的となり大半が中級品以下になることが見込まれています。

豪州産オーツハイ／ウィートストロー

南豪州、東豪州ともに8月は降雨に恵まれ生育は順調です。東豪州の北部で一部、降雨量が少なく低収量が予想される地域もありますが、東豪州、南豪州ともに9月中旬から順次収穫が開始される見込みです。



(東豪州 9月中旬頃の収穫が見込まれる圃場 8月下旬撮影)

西豪州は地域によって降雨量にバラつきがあり、一部地域では乾燥気味な気候が影響しやや生育が遅れています。西豪州では9月上旬から中旬にかけて順次収穫が開始される見込みです。産地では暖冬傾向で気温も高く適度な降雨があったため放牧草の生育状況はよく、内需からの引き合いは落ち着いている印象です。



(西豪州の生育が順調な圃場 丈90cm、出穂率5割～7割程 8月下旬撮影)

以上